

新世代モバイル通信システム委員会 基本コンセプト作業班（第8回）・
技術検討作業班（第3回）合同会合 議事要旨

1 日時

平成 29 年 7 月 6 日（木）10：00～10：35

2 場所

中央合同庁舎第 2 号館（総務省） 8 階 第 1 特別会議室

3 出席者（敬称略）

構成員：

三瓶 政一（主任）、青山 恭弘、天野 茂、岩浪 剛太、岩根 靖、大西 完司、小竹 信幸、
加藤 康博、上村 治、國弘 卓志（代理：高木 光太郎）、佐藤 孝平、清水 俊光、庄納 崇、
城田 雅一、辻 ゆかり、中村 武宏、中村 隆治、平松 勝彦、本多 美雄（代理：高岡 晴
生）、松永 彰

関係者：

大杉 雅仁（気象庁）、梶原 佑介（気象庁）、和田 孝一（海上保安庁）、小出 孝治（(国研)
宇宙航空研究開発機構）、中村 光則（地域W i M A X 推進協議会）、藤田 真（明星電気株式会
社）、古川 憲志（株式会社 N T T ドコモ）、南 淳一（U Q コミュニケーションズ株式会社）

総務省：

渡辺電波部長、田原電波政策課長、片桐電波政策課研究官、竹下電波政策課調整官、杉野移動通
信課長、金澤移動通信課企画官、中村新世代移動通信システム推進室長、高橋移動通信課課長
補佐

4 議題

(1) 携帯電話用の周波数確保に向けて

事務局より資料合作 1-1 及び資料合作 1-2 に基づき、委員会報告（案）について説明が行われ
た。

主なやりとりは以下のとおり。

大西構成員：資料 1-1 の 20 ページ目について、1.7GHz の公共業務用無線局の再編との記載がある
が、具体的にどの周波数帯に移行することを検討しているのか。

事務局：公共業務用無線局の業務継続性等など資料合作 1-2 の 36 ページ目一番下のパラグラフに
記載している内容を踏まえて、現在検討しているところ。

三瓶主任：電波防護指針について、今後ミリ波に移行したとき、既存の指針で対応可能なのか。そ
れとも新しく検討を行う必要があるのか。

事務局：現在の電波防護指針は 6GHz 以下が対象となっている。現在、6GHz 以上の周波数帯に対応
した電波防護指針については別途の場で検討が行われているところ。

三瓶主任：他にご意見等はないでしょうか。それでは、本日説明いただいた委員会報告（案）について、私から新世代モバイル通信システム委員会へ報告したいと思います。委員会報告（案）の最終的な内容については、私にご一任願えればと思いますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

(3) その他

事務局より、委員会報告（案）について、新世代モバイル通信システム委員会に対し報告を行う旨説明があった。

以上